

第 68 回 河川レンジャー制度運営委員会 議事要旨

開催日：令和 5 年 3 月 1 日（水）14:00～17:30

実施場所：オンライン+ウォーターステーション琵琶 1 階会議室

出席者：制度運営委員会委員：中谷、北井、平山、辻、矢野

琵琶湖河川レンジャー：水上、福西

傍聴者：1 名

事務局：琵琶湖河川事務所；荻田、松田、堀

流域連携支援室；中西、松岡、井上、寺井、小野

(敬称略)

1. 議事

- 報告 (1) 河川レンジャー活動支援室からの報告
(2) 河川レンジャー年間活動報告
- 審議 (1) 河川レンジャー応募用紙等の改正について
- その他
(1) 河川レンジャー関連活動の年間実績及び次年度スケジュール案
(2) 河川レンジャーレポート vol. 48 発行報告
(3) 琵琶湖河川事務所からの情報提供
(4) 傍聴者からのご意見
- 非公開審議 (河川レンジャー審査)

2. 結果 [凡例：○ 委員、□ 河川レンジャー、△ 事務局、☆ 傍聴者]

■報告

(1) 河川レンジャー活動支援室からの報告

△ 河川レンジャー活動支援室から前回委員会以降の動き等について以下の報告を行った。

1. 河川レンジャー・河川レンジャートライアルの応募状況
2. 河川レンジャートライアルの活動報告
3. 河川レンジャー勉強会の活動報告
4. 河川レンジャー・琵琶湖河川事務所 意見交換会 開催報告
5. 瀬田川・琵琶湖の外来水草問題を学ぼう 開催報告
6. 第 67 回 河川レンジャー制度運営委員会 開催報告

(2) 河川レンジャー年間活動報告

河川レンジャー 3 名より年間活動報告がなされた。各河川レンジャーの年間活動報告に対する委員の意見・助言は以下のとおり。

【根木山 河川レンジャーの年間活動報告について】

□ 根木山河川レンジャーの活動報告は、本人所用により、事前に撮影した動画にて報告が行われた。

【水上 河川レンジャーの年間活動報告について】

○ 幼木伐採活動について、立命館守山中学校が参加されているが、同校はサイエンス教育等に力を入れていると聞く。活動を通じて生徒から学んでいる学術的な考察等が聞かれたりするか。川への関心の高まりや再認識など内面的な効果があるとよりよい。

⇒□参加する生徒へは、目的が防災のための幼木伐採であることを事前に訪問して説明している。特に、幼木材が炭になる過程を実践するところでサイエンスクラブの先生に協力していただいた。また、事務局と相談し参加者の内面的な効果を年間活動報告に追記したい。

- 河川清掃の活動は、連携の輪も広がってきているなど、年々充実してきていると感じる。河川清掃の準備や運営において課題や手応えがあれば教えてほしい。
 - ⇒□企業や学校、連携の輪が広がってきたことにより、企画内容も充実し、活動における準備や役割分担を行うなどして、自身はコーディネーターする側へ移行しつつある。反面、企画内容の充実に伴い運営すべてに目が行き届かなかったところが反省点。住民主体に変えていくことをどう進展させていくかが今後も悩ましく感じている。何回も訪問することが一番大事かと思っている。
 - ⇒○密にコミュニケーションを図る中で、個別に進めると役割も重くなるように思う。可能であれば、一緒に打合せする場を設けるのも一つの手かと思う。今後の展開に期待している。
 - ⇒□お互いの信頼関係をもう少し高めて、協議会のような場づくりを目指していきたい。
- 活動を仕掛ける上で、企業や学校など組織があるところは意思伝達がスムーズであるが、住民に対しては伝え方が難しい。例えば河川レンジャーが活動していることを知らない住民に活動をどう思うか尋ねることからもヒントが得られる。一緒に考える場があるとよりよくなっていくのではないか。また、うまく企業を巻き込んでいるので、地元守山市もうまく巻き込んでもらえるといい。

【福西 河川レンジャーの年間活動報告について】

- 活動「応急手当と水難事故発見時の対応」について、川で活動されている方へ参考となる。今後、動画の撮影および配信を検討されてはどうか。
 - ⇒□必要機材や環境を整えば可能である。今後考えていく。
- 瀬田川の清掃活動について、大津市北部クリーンセンターとの繋がりができたということだが、ゴミ処理の役割などはどのように分担されているのか。
 - ⇒□今回は、清掃活動およびゴミの分別・集積までは参加者（住民）で、ゴミの回収・運搬は北部クリーンセンターに実施していただく調整をした。
 - ⇒○行政等との調整など、今回の活動を実施する際に、過去の経験等があったのか。
 - ⇒□河川レンジャーに任命される以前、淀川流域や琵琶湖での清掃活動に参加し、主催者から清掃活動の企画全般について聞いてきた経過があり、知識としては持っていた。その経験が生きたと思う。
- 今後、福西河川レンジャーのノウハウが清掃活動したい人に伝われば良い。
- ライフジャケットの着用の啓発については、直接河川利用者とコミュニケーションをとる難しさもあると思われるが、うまく広がると良い。AEDの使い方や設置場所の情報などを簡単に伝える方法などもあるといい。清掃活動の感想を聞く際には、さりげなく「何が良かったのか」など掘り下げた質問を試みるのも良い。
- 瀬田川洗堰より下流域への活動展開については、危険箇所を十分注意しながら進めてほしい。

■ 審議

(1) 河川レンジャー応募用紙等の改正について

- △ 河川レンジャー応募用紙の様式について、応募者によっては設問内容が重複しているように解釈されてしまう箇所があり、内容をより明確にするため、設問の改良を提案した。
 - ⇒提案通り設問を改良することとし、併せて記入例を作成し、ホームページでも掲載させる。ただし、運用にあたっては事前に委員へ提示して確認・了承を得る。

■ その他

(1) 河川レンジャー関連活動の年間実績及び次年度スケジュール

△ 2022 年度の琵琶湖河川レンジャー関連活動の実績および 2023 年度の活動スケジュールを報告した。

(2) 河川レンジャーレポートの発行等について

△ 河川レンジャーレポート vol. 48 の発行について報告した。

⇒○河川レンジャーの活動エリアへ十分且つ効果的に発信していけるように発行部数を検討して広報いただければ良い。

(3) 琵琶湖河川事務所からの情報提供

△ 瀬田川散策路（瀬田川ぐるりさんぽ道）について、利用マナー啓発チラシを作成。今後、河川レンジャーの活動ツールの一つとしても活用しつつ、広報していくことがアナウンスされた。

⇒○広報にあたっては、チラシ紙面に河川レンジャーホームページの QR コードを掲載して PR していくなどの工夫も検討いただけたらと思う。

(4) 傍聴者からのご意見

☆ 琵琶湖河川レンジャーについて具体的に活動内容や運営等についてよく分かった。

■非公開審議（河川レンジャー審査）

応募のあった琵琶湖河川レンジャー希望者に対する審査が執り行われ、5 名の任命が決議された。

以上